

2015.7.23 提出 視察報告書 町田市議会 個人視察（保守連合） 吉田つとむ
視察先 豊田市 とよたエコフルタウン
実施日 平成 27 年 7 月 14 日

施設について

とよたエコフルタウンは、次世代の環境技術を集約した全国初の地区として、安心で活力と魅力あふれる低炭素社会を提案します。

ここでは次世代環境技術を誰でも体感することができます。

以上、パンフレットに記載の内容です。

平成 24 年 5 月オープン。

「ミライのフツーを目指そう」がモットーとされています。

所見

豊田市のとよたエコフルタウンを視察しました。最良のエネルギー環境での生活を追求したスマート社会と言われる未来（近未来）の生活を表した施設でした。豊田市が造っているものですが、多くの企業が参加した施設となっています。

豊田市が自治体合併によって、都市部だけでなく、広大な山間部も含めた自治体（918.47 km²・・・町田市の 10 倍以上の面積、人口はほぼ等しい）になったことで、こうした発想になったようでした。

移動手段としては、一人載りの車（超小型電気自動車＝EV）があり、走行体験できる施設になっています。私も体験乗車を行いました。

また、水素ステーションがあり、燃料電池自動車（FCV）の基地となっていました。実際に、昨年市販された、燃料電池自動車（FCV）＝みらいが時折行きかかっていました。



その他、様々のスマート社会と言われる環境を提示していました。メインは、パビリオンでの紹介展示となっています。民間企業が技術開発したものの展示紹介が主体でした。都市環境だけでなく、森林に関するものなど町田市においても参考になる展示出展でした。



別に、民間企業のハウス展示があり、内部を見て回る事ができる形態になっていました。スマートハウスと名付けられ、エネルギー消費に限らず、最適環境を提供することがテーマになっていました。出展は、トヨタホーム（電気自動車と一体）、ナイス（豊田市産材使用）、LIXIL（リフォームを加えた建築）など。住居規模が首都圏で考えるより大規模でした。

滞在時間の関係で全部を回ることができませんでした。よって、記述は見学の範囲としました。